12
December 2016
第752号
平成28年12月1日発行
（毎月1日発行）

［広報］

さめがわ

Public Relations SAMEGAWA



【小特集】

さめがわの「つなぐ教育」

「つなぐ教育」

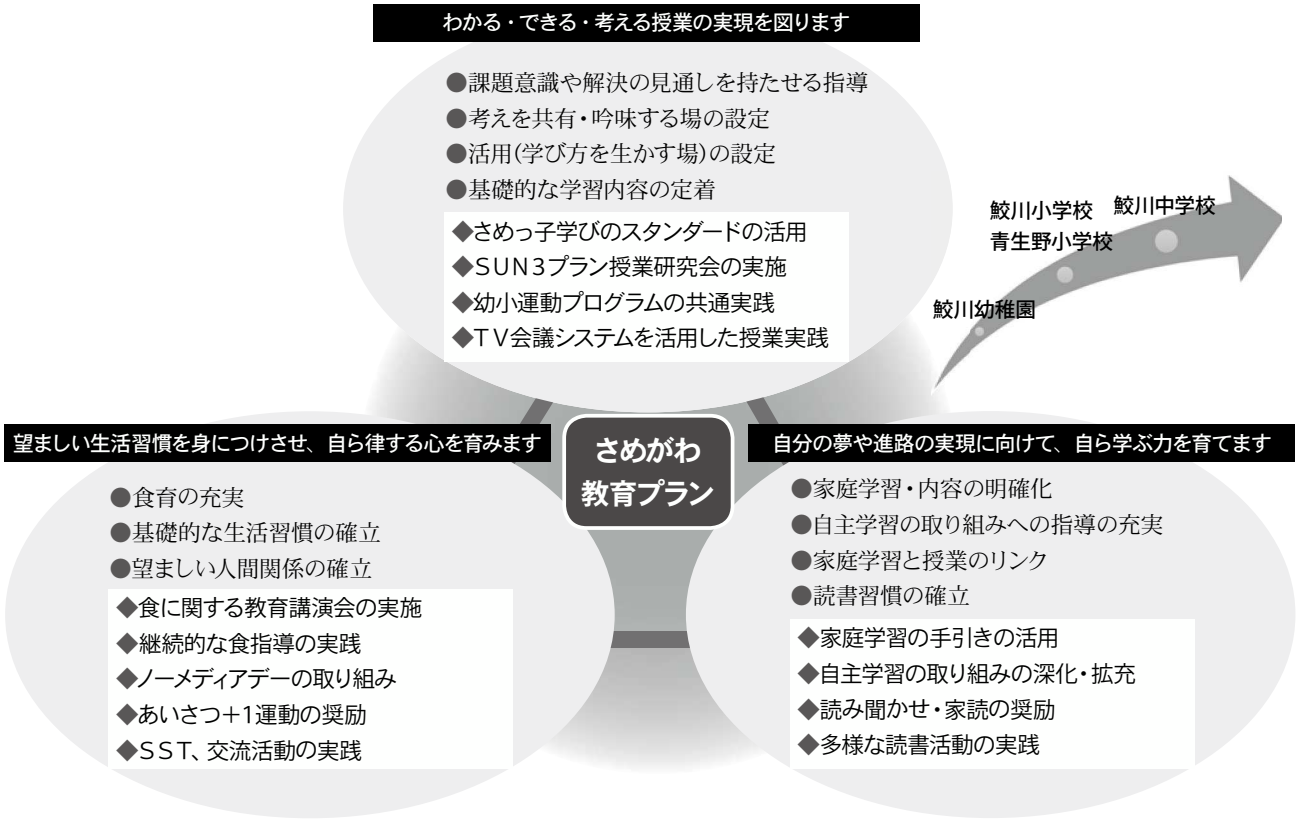
学校・家庭・地域が「さめっ子」を育む取り組み

「つなぐ教育」推進事業は、学校、家庭および地域が連携し、児童生徒の学習習慣・生活習慣の確立と授業の充実などを目指す取り組みを推進し、確かな学力向上を図るために行われています。本村は、本事業の指定を受け、これまでの取り組みを見直し、改善することで、幼・小・中の異校種間の連携や学校、家庭、地域の連携の強化を図ってきました。

「わかる・できる・考える授業の実現」「自分の夢や進路の実現に向けて自ら学ぶ力の育成」「望ましい生活習慣を身につけさせ自ら律する心の育成」の3つの重点目標のもと、村内の教職員が共通理解を図りながら、具体的な取り組みを推進してきました。

今後も、幼・小・中の学びの系統性を重視しながら、学力向上を図るとともに、家庭や地域との連携に関する情報を積極的に発信しながら学習習慣・生活習慣の改善を図っていきます。

SUN3プランさめがわ全体構想図



教育長インタビュー

「なぜ?」と問い、自ら答えを求めていく力

これが子どもたちに求められています。

子どもたちは、幼いころから親がやさしく話しかけてくれる言葉を耳にし、指し示すものを自分の言葉で推論し、その言葉を自分のものにしてきました。幼いころ、効率化を求めない「ごっこ遊び」に夢中になってときを過ごし、子どもたちは小学校に入学します。

今、子どもは、言葉を使って考えることができます。その学びの広がりと深さを求める場が「学校」です。

つながりを大事にし、子どもの学力や生活の向上に努めます。



鮫川村教育長
奥貫　洋

〈小特集〉さめがわの

具体的な取り組み

メディアとのつながりから家族とのつながりへ

今日的な教育問題としてあげられているテレビやゲーム、携帯電話依存の問題への対応として、村内小・中学校では「ノーメディアデー」に取り組んでいます。

各家庭において、メディアに触れる時間を意図的に制限することによって、次のことをねらいとしています。

●家族とのふれあいを図る
●読書、家庭学習など、時間を有効に活用する
●メディアに触れる時間をコントロールする意識を持つ

原則「火曜日」をノーメディアデーとしてさらなる推進を目指しています。メディアとのつながりよりも家族とのコミュニケーションを増やしてみませんか。





お互いの良さを認め合ってよりよい人間関係づくりを

9月27日(火)に鮫川小学校において、青生野小学校との交流活動を行いました。児童同士が直接ふれ合う活動をとおして、自分や友だちへの理解を深めたり、友だちと関わることの楽しさを実感したりしました。今後は、ＴＶ会議システムを活用した合同授業において、考えや思いを交流させることで、積極的にコミュニケーションを図りながら、互いのよさを認め合おうとする態度を育てていきます。

幼・小・中の教員が合同で指導法の研修をしています

6月10日(金)に鮫川小学校、9月12日(月)に青生野小学校、11月11日(金)に鮫川中学校において、授業研究会を行いました。村内幼・小・中学校の教員が国語科や算数科、英語科における表現・交流活動のあり方などについて話し合いました。子どもたちの学力向上を目指し、今後も校種を超えた教員同士の交流を通して、効果的な指導法について研修を深めていきます。



幼小連携運動プログラムの共通実践を図ります

10月12日(水)に鮫川小学校において、鮫川幼稚園児・鮫川小1年生・幼小教職員による「リズム運動」の研修会を行いました。幼稚園で育てた運動能力を小学校でさらに高めていきたいと考えています。

家庭学習の習慣化を目指して

家庭学習の習慣を身につけるとともに、自発的な学習を促すために「子どもをのばす家庭学習３つのポイント」を作成・配布します。保護者の皆さんの協力のもと、家庭学習や自主学習の指導に取り組んでいます。

村中心地域活性化基本構想策定委員会

村中心地域活性化基本構想策定委員会の第1回策定委員会は11月7日、役場「正庁」で開かれました。

この委員会は、道の駅整備のための調査および基本構想(案)の策定や中心地域の活性化に結びつく意見を集約することを目的としています。委員は各行政区長をはじめ、公募のあった村民13人の計20人で構成されています。任期は平成29年3月31日です。

この日は、委員17人が出席。開会の後、大樂村長が委員一人一人に委嘱状を手渡し、「中心地活性化のため、遠慮のない意見を述べていただきたい」とあいさつを述べ、協議に入りました。

協議では、▼中心地域活性化基本構想策定委員会について▼策定委員会の運営について▼基本構想の策定について―それぞれ事務局から説明がありました。委員からは、道の駅のあり方や、この委員会で検討する具体的な内容、手まめ館との関係、次の世代につないでいくためにはどうしたら良いかなど、多くの意見や質問が出されました。

今後は、月2回程度、委員会を開き、中心地域活性化のための施設の整備、運営方法、さらには整備候補地などを検討していく予定です。

問 村企画調整課企画振興係 ☎ 3115 ㊾


活発な意見が出された第1回策定委員会

矢吹さんが「永年勤続農業委員表彰」を受賞

長年にわたり地域農業の振興および発展に尽力した功績が認められ、矢吹勝美さん＝中沢＝に福島県農業会議から「永年勤続農業委員表彰」が贈られました。

矢吹さんは、通算5期、約13年にわたり、村農業委員会長や村農業委員などを務めました。



住宅用火災警報器の点検・交換を

住宅用火災警報器の設置義務化から今年で10年になります。電子部品の寿命や電池切れなどから、センサーが作動せず、火災を感知しなくなることがあります。日ごろから適切な維持管理をお願いします。

※設置から10年以上経過している場合、本体の交換が推奨されています。

問 棚倉消防署鮫川分署 ☎ 2119 ㊾



青生野区で記念式典

継続完納60年達成に感謝

村税継続完納60年を達成した青生野区の「村税継続完納60年達成記念式典」は11月13日、青生野集落センターで行われ、完納達成を祝うとともに、さらなる継続完納を誓いました。

式典には、大樂村長、村議会議長、区関係者などが出席。区長が関係者らに感謝の言葉を述べるとともにこれまでの歴史を振り返り、歴代区長に感謝状を手渡しました。続いて、大樂村長、星村議会議長、森区長会長から祝辞が述べられました。その後、祝宴が開かれ、改めて継続完納60年達成の喜びを分かち合いました。



青生野区長から感謝状が授与された第33代区長の白石雅敏さん



農産物などの放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物などの放射性セシウム測定結果を公表します。結果は参考値で目安です。

村は引き続き放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、利用してください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

問村農林課☎㊾3114

10月16日～11月15日検査　［ベクレル/kg］

検査試料	赤坂西野	西　山	赤坂中野	東　石	富　田	渡　瀬	青生野
大根	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
白菜		不検出		不検出	不検出		
春菊		不検出					
ネギ	不検出	不検出			不検出		
チンゲン菜		不検出		不検出			
かぶ	不検出			不検出			
カボチャ				不検出			不検出
とろろ芋		不検出			不検出		
里芋		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
サツマイモ		不検出		不検出	不検出		不検出
じゅうねん		不検出				不検出	
芋がら(乾燥)	不検出	不検出	不検出				
ゆず	不検出					7	
イノシシ肉	258		143	312	258	192	423

ぼく・わたしの夢

〈第19回〉

鮫川小6年生



小松新菜（にいな）さん

美容師になりたい

美容師が髪を切っている姿がかっこよかったので、そんな美容師になりたいです。図工が得意ですが、算数が苦手です。計算間違いが多いので、見直しをしっかりして、間違いがないように気をつけています。

やさしい保健の先生に

将来の夢は保健の先生になることです。悩みを聞いてくれて、やさしい保健の先生になることが目標です。苦手な算数を頑張って高校、大学に進学したいです。そして、国家試験に合格できるように頑張りたいです。



阿久津恵実（えみ）さん



水野遥菜（はるな）さん

ペットショップの店員になりたい

5歳のときに家で犬を飼い始めたのがきっかけで、ペットショップの店員になりたいと思いました。犬の中でも、柴犬や豆柴が大好きです。いまはバスケットボールをしています。中学校へ入学してからは、バレー部に入部したいです。

教育長コラム

好きな詩があります。

あなたが光の中を歩いているとき
暗い影にいる人達のことを思ってほしい
あなたが影の中を歩いているとき
明るい光の世界があることを信じてほしい
そう思うだけ　信じるだけではなく
それを言葉で表現してほしい
相手に伝わるように
相手に少しでもとどくように
真の言葉こそ　力なのだから
（作：あまんきみこ）

毎日の生活は決して平たんではありません。一日の中でも心は大きく変化します。その時々の気持ちを自分の言葉で表そうと思い立ってから久しくなります。自分自身を冷静に客観的に眺めることができるようになりました。真の言葉の大切さを感じています。

奥貫　洋

学校だより

（146）

鮫川中学校編

校外での体験学習 貴重な体験をしました！

9月13日から2日間、各学年で体験学習を行いました。

▼1学年「民話の語り部体験」…鮫川村に伝わる民話を方言を用いて語り部の人から聞きました。また、朝日山を登山し、鮫川の自然に触れました。



▼2学年「職場体験」…村の子どもセンター、消防署や美容室などの8事業所で職場体験を行いました。働くことの大切さや大変さを学ぶことができました。



▼3学年「福祉体験」…たんぽぽの家で紙袋づくりや農作業など、特老さめがわで介護などを体験しました。活動をとおして社会福祉について多くのことを学びました。



壇の岡祭 今年のテーマは「奏」です

10月22日（土）、壇の岡祭を開きました。準備や練習を重ね、学習の成果を発表しました。合唱コンクールでは、最優秀賞を目指して素晴らしいハーモニーを体育館に響かせていました。総合学習の発表は、体験学習で学んだことを発表しました。生徒の活躍で素晴らしい壇の岡祭となりました。

【合唱コンクール】▼最優秀賞…3年1組▼優秀賞…2年1組▼伴奏者賞…鈴木舜花（3年）▼指揮者賞…北條七海（3年）・北條佑奈（2年）

【文化祭テーマ】舟木悠悟（3年）**【ポスターコンクール】**藤田桜花（2年）**【ビッグアートデザイン】**…蛭田樹璃（1年）



（文・写真／鮫川中学校）

緑のふるさと協力隊・三登百合子さんの鮫川体験記

さめくら便り

～1年間の鮫川での暮らしをつづります～

昔からあるものを継承していくことに役立てるよう動いていきたい

紅葉の見頃が過ぎ、冬の気配が濃くなってきました。私は今まで木々が赤や黄色に染まるのは見ていましたが、山全体が染まるということを初めて意識しました。

11月は小学校に行く機会が多くあり、鮫川小1年生の牛を飼育されている農家さんの訪問、3年生の舘山公園での森林教室、5年生の収穫祭や青生野小の大豆収穫に行きました。地域資源やその道に詳しい人を巻き込み、地域に合った豊かな教育が行われているなと感じました。

私も子どもたちを対象に村内を巡るツアーを行いました。サツマイモや里芋を掘ったり、郷土料理を食べたり、強滝を散策したり、鮫川和紙を使ってしおりを作ったりしました。土の中の里芋を初めて見たという声が聞かれたり、郷土料理を楽しむ様子が見られたりしました。課題はありますが、やってみてよかったです。ご協力いただいた皆さん、参加して下さった皆さん本当にありがとうございました。これからまた何か形に残していけたらと思います。

「郷土料理を楽しむ会」では、鮫川村の野菜と味付けによる料理が振る舞われ、多くの人が楽しんでいました。村外からのお客さんが目立ち、食という観点で村のPRがしっかりなされていたと思います。筋力教室では初めて村の民話を発表しました。当たり前のことですが、郷土料理や民話をはじめ昔からあるものは残す・伝える人がいなければ無くなってしまいます。微力ですが私も継承していくことに役立てるよう動いていきたいです。





上_ 牛を見ながらスケッチしたり、特徴をメモしていました（鮫川小1年生）
下_ 強滝で拾った葉っぱと鮫川和紙で思い思いのしおりを作りました



「折戸サロン」でうどん打ちを体験しました


来場者の注目を集めたクロリティ大会

日ごろの感謝を込めて
村民の店「すまいる」３周年感謝祭

村民（みんな）の店「すまいる」の３周年感謝祭は10月29日、早女川食堂から「すまいる」までを歩行者天国にして行われました。会場では、来場者に豚汁が無料で振る舞われたほか、「たんぽぽの家」によるうどんの出店やクロリティ大会などの多彩な催しが行われました。買い物をすると500円ごとに1回抽選ができる記念抽選会も行われ、子どもから高齢者まで多くの来場者でにぎわいました。

万が一に備えて
折戸地区で火災防御訓練

火災防御訓練は11月６日の早朝、折戸地内で行われました。訓練には棚倉消防署鮫川分署員や村消防団などが参加。「火災警報発令中、たき火が風に煽られ山林へ延焼拡大し、さらに民家にせまっている」という想定の下、通報から放水までの一連の防御活動が繰り広げられました。団員らは、本番さながらの機敏な動作で、訓練に臨みました。訓練終了後は、消火器取扱訓練が行われ、地元住民は、鮫川分署員の指導で安全な消火方法を学びました。


放水訓練を行う消防署員・団員


英語で見事な劇を披露した６年生「Swimmy」

学習の成果を披露
鮫川小で学習発表会

鮫川小（芳賀なおみ校長、１７０人）の学習発表会「さめっ子フェスティバル」は10月29日、同校で開かれ、児童たちが日ごろの学習の成果を披露しました。

合唱部による「ぼくらのエコー」「空のうた」の２曲が披露されたほか、敬老作文の発表や幼年少年消防クラブの防火標語コンクール表彰、少年主張作文の発表が行われました。学年ごとの演目では、趣向を凝らした発表が続き、保護者たちから大きな拍手が送られました。

関根さんが２年連続「佳作」に
東白川郡短歌大会

東白川郡短歌会主催の「第38回東白川郡短歌大会」で、関根ハナヨさん＝水口＝の作品が「佳作」に選ばれました。大会には郡内から46首の応募があり、ハナヨさんは昨年に引き続き２度目の受賞となりました。表彰式は11月13日、塙公民館で行われ、表彰式と記念品が贈られました。ハナヨさんは「一生の宝です。奥の鮫川短歌会長の北條平さん＝岫長＝をはじめ、みなさんの支えがあって入選することができました」と喜びを話しました。


賞状とともに喜びの表情をみせる関根ハナヨさん

鮫川村民の誇りを胸にタスキつなぐ
第28回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

「第28回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)」は11月20日、しらかわカタールスポーツパークをスタート、県庁前をゴールとする95.1キロのコースで行われました。

本村チームは昨年よりもタイムを約９分縮め、総合順位も４つ上げて25位と健闘しました。阿久津光市監督＝折戸＝は「若い選手たちが予想を上回る素晴らしい走りをしてタスキをつないでくれた」と選手たちを労いました。

今年は２人の選手が区間賞を獲得しました。１区の緑川春香さんは「周りから期待されていたので、プレッシャーがあった。それでも、笑顔を絶やさず走ろうと考えていた」とにっこり。10区の圓井彰彦さんは「前半の選手が頑張ってくれたので、後続との差を開き、前との差をつめる思いで走りきりました」と汗をぬぐいました。「村のために、村民のために」とタスキをつないだ選手やサポートメンバーは晴れやかな表情でした。





上_団結して走りぬいた鮫川村チーム
下_区間新記録の走りをみせた第10区・圓井彰彦選手



堂々と発表する児童・生徒

思いを言葉と歌にのせて
少年主張大会・音楽発表会

「第21回鮫川村少年主張大会・第15回音楽発表会」は11月３日、村公民館で行われました。主張大会では、小学生から高校生までの12人が家族や村のこと、これまでの経験から感じたことなどを発表しました。

続いて行われた音楽発表会では、村内の小・中学校合唱部やコーラスさめがわが美しいハーモニーを披露しました。最後に来場者全員による「村民の歌」の合唱が行われ幕を閉じました。

多くの買い物客でにぎわう
「手・まめ・館」11周年大感謝祭

村農産物加工・直売所「手・まめ・館」の11周年大感謝祭は11月６日、同所で行われ、９時の営業開始とともに、村内外からの多くの買い物客でにぎわいました。直売所や喫茶店では特別価格で商品が販売されたほか、食堂のバイキング形式のワンコインランチを求めて行列ができるなど大盛況。このほかにも、抽選会や手まめ館特製「投げ餅」、福岡県出身の双子デュオ「健太康太」によるミニライブが行われ、来場者を楽しませました。



多くの買い物客でにぎわった館内

第8回鮫川村フォトコンテスト

Samegawa Photograph Contest

さめがわの四季の移ろいを撮る 山紫水明

鮫川村の美しい農村景観の魅力を再認識するとともに、これらを広く村外に発信するために開かれている「鮫川村フォトコンテスト」。テーマは「鮫川村の四季を感じる風景」。村内外の60人から171点の応募がありました。審査会は11月2日に行われ、村カレンダーにふさわしい入賞作品が決まりました。

特選



田んぼで出逢った素敵な人

小林正義（石川町）

準特選



【福島民友新聞社賞】

遠き春

門林泰志朗（いわき市）

準特選



【福島民報社賞】

春を待つ鹿角平

山内壮介（棚倉町）

入選



秋澄む丘の花畑
柳下久志（矢吹町）



何が釣れたかな
小田島守明（郡山市）



氷筍
藁谷六朗（浅川町）



風が鳴る
鈴木徹（茨城県）



そうめん滝
鈴木征一（白河市）



川辺に咲き競う
千原武和（郡山市）



吾輩の散歩道
遠藤清作（いわき市）



鮫川アンド天の川
丹野　稔（いわき市）



春の陽光（ひかり）
芳賀正訓（渡瀬字江竜田）

佳作



新緑の鹿角平
貝塚直美（沖縄県）



晩秋
矢作武一（古殿町）



爽やかな薫り
岩鍋庄次（白河市）



大空へ！
熊田行雄（鏡石町）



豊作田の模様
澤畠麻愛（いわき市）



森の鼓動
薄井光雄（白河市）

特別賞



秋嶺の頂
柳下久志（矢吹町）



街を望む
高木志津夫（いわき市）



涼を求めて
綿引勝春（茨城県）

村民【随想】リレー ―― 221

蛭田こずえさん

私の幸せ。



ひるた・こずえ●1983年6月鮫川村生まれ。趣味は読書。モットーはいつも笑顔で元気よく。赤坂中野字東前田、33歳。

私も夫も、生まれも育ちも鮫川村です。早いもので気がつけば結婚して10年が過ぎました。あっという間の10年だったような気がします。2人の子どもに恵まれ、1日が、1カ月が、1年が本当に早く感じます。それは、1日1日が平和であり、平穏であり、平凡であり、それが幸せだからです。

「お母さん、マラソン記録会頑張ったよ！　15位になったよ！」と満面の笑みで話してくれた娘。上位ではないけれど、自分なりに一生懸命諦めずに走れたことが、とても誇らしげでした。「自分の名前、書けるようになったんだよ！」と嬉しそうに書いてくれた息子。それが微妙に間違っていても…。いつの間にか、できなかったことができるようになっていく子どもたちの成長を見ることが私の幸せです。子どもたちの寝顔を見ると、また明日も頑張ろうと思えます。

そんな小さな幸せを、これからも積み重ねながら、この大好きな鮫川村で家族仲良く暮らしていきたいなと思います。そして、いつの日か子どもたちも鮫川村を大切に思えるようなふるさとにできるようになればと思います。■

次号は、木之内彰さん（渡瀬字下）にバトンタッチ！

俳句

クリスマス雪のない日や小鳥来る　中井　恒峯
収穫へ秋の多忙さ日々に増し　北條素人坂
新米すべてコンベアに乗り検査済　松本　精一
仰ぎ見る山門銀杏紅葉舞う　前田　縫子
菊人形旧友の住む城下町　山本　恵子
団栗を袋いっぱい得意顔　斎須　信子
少年の主張頼もし文化の日　鈴木　米子
吊舟草に幼い夢が揺れている　山本五十鈴

短歌

保存食あれやこれやと工夫する主婦の日常雪虫の飛ぶ　須藤　幸子
稔り田に張り巡らした電気柵稲刈終えてロールに巻きぬ　鈴木イミ子
収穫もあらましにそぼ降る小雨の今日はこたつを囲む二人のお茶は　佐藤　春枝
峠道下りてゆけば紅葉を映して羽鳥の湖しずかなり　水野　珠子

Book 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

昭和の親が教えてくれたこと

森まゆみ著、大和書房



忘れたくないのは、こんな言葉。こんな生き方。「もったいない。お互い様…」子どもたち世代へと伝えていきたい大切な教えと暮らし。
著者が戦後の昭和の暮らしについて書きつづった1冊。

簡単なのにきちんと作れるおせち料理

井澤由美子著、成美堂出版



重箱にきっちり詰められた数々の料理。全部作ることを考えると尻込みしてしまうのは当然。そんなおせち作りの初心者へ決して無理せず、心をこめて楽しく作れるおせち、おせちが引き立つ重詰めの基本や器を使ったアレンジを紹介。

第３土曜日は 家族一緒に読書の日



2016年11月25日撮影

この風景はどこ? Photograph

水車が特徴的なこの風景。前日に降った雪があたり一面に残っています。例年、イルミネーションが点灯します。
今年もきれいな灯を見せてくれるのではないでしょうか。

景勝地に限らず、皆さんが好きな村内の風景を教えてください。モノクロ写真で分かりにくいものは掲載できませんので、ご了承ください。＜応募方法＞①氏名②年齢③住所④電話番号⑤好きな風景(場所)を明記して応募してください。＜応募先＞役場企画調整課　〒963-8401赤坂中野字新宿39番地5　☎0247㊾3115　E-mail：kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp

※答えは17㌻「情報BOX」に掲載しています。

奉納のチビッ子相撲に優勝の曾孫
は十キロ米の賞受ける
石井　幸子

見渡せば野山はもみじに様変わり
雪虫飛びくる早も季くる
須藤シツエ

我が家より見渡す里は秋模様枯野
に目立つ萱の穂なびきて
前田喜三子

秋深く落ち葉のむしろ庭一面秋の
日差しに菊の香漂う
関根ヨネ子

山並みの空青々と澄みわたり真綿
のような朝の月浮く
藤田千代子

夫として長坂行けば見渡せる山並
み紅葉に模様変えるを
関根ハナヨ

オニヤンマ部屋を巡りつ元気よく
吾を慰め秋空目ざし
板橋　源良

難産の末に生まれし牛の仔の自発
呼吸の今し始まる
関根キヌ子

北風もなびき様では春風に八苦の
娑婆の喜怒哀楽も
矢吹　一二

前山に揺れる紅葉は朝日受け一際
目立つあたりに映えて
北條　平

さめがわ人　No. 9
Person

長年の夢を実現 お客さまを笑顔にしたい



TROIS SOEURS（トワ スール） スタイリスト 生田目真弓さん

なまため・まゆみ（34）赤坂中野字新宿

12月1日に念願の美容室をオープンする生田目真弓さん。出来上がったばかりの店は、落ち着いた内装で誰でも気兼ねなく入れる雰囲気です。

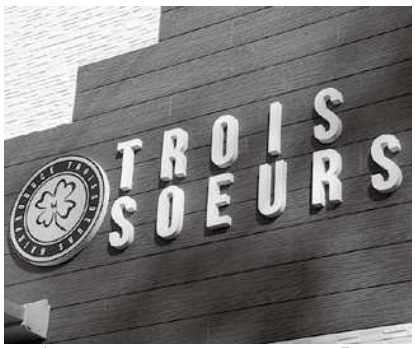
高校を卒業後、埼玉県の美容室に就職。働きながら、専門学校の通信課程で3年間学び、美容師資格を取得しました。その翌年、「いつか地元で自分のお店を出したい」という思いを抱いていた真弓さんは、地元の中島村に戻り、郡山市の美容室で働いて技術を磨きました。妊娠を機に退職したあともその思いは変わることはなく、むしろ強くなる一方でした。家事や育児に奮闘する間も、腕が鈍らないように友人の髪をカットしたり、着付けを学んだりするなど、着実にスキルアップしてきました。

その努力が実り、今年4月に店の建設が始まりましたが、すべてが順調に進んだわけではありませんでした。保健所から指摘を受けて建設中だった基礎を作り直すなど、ハプニングが続きました。しかし、そのような状況でも真弓さんは前向きでした。「『どうしよう』と思うことはなく、開店に向けてやるしかないという思いだけでした」と振り返ります。

真弓さんの夢と努力が詰まった店の名前は「TROIS SOEURS」。フランス語で「3姉妹」という意味です。俳優の宇梶剛士さんが考えてくれたという店名「永遠（とわ）」に加え、3人の愛娘に残したいという思いを込めました。

店も完成して店名も決まり、あとは開店の日を待つばかり。「楽しみです。早くお店を開きたいという思いでいっぱいです」と、真弓さんは待ちきれない様子です。「一人一人のお客さまに合わせたスタイルを一緒に考えて、お客さまを笑顔にしたいです」と目を輝かせます。

長年の夢を実現させた真弓さん。新たな一歩を踏み出します。



ロゴマークには、夫・宏好さんの「H」と真弓さんと3人娘の「M」が入っている

若者の広場　No.144

Young Plaza

山本飛翔さん

住民が満足できる環境を



やまもと・つばさ
1995年６月22日生まれ　21歳
A型　かに座
趣味はバレー
赤坂西野字大塩

★今、夢中になっていることは？

週に３回、村トレーニングセンターで同級生などの友達とバレーボールをしています。バレーボールをとおして交流できることが楽しくて夢中です。

★将来の夢はなんですか？

いま大学３年生で、将来就きたい職業を模索しています。人助けをしたい、特に地元のお世話になった人を助けられるような職業は何かを考えています。

★鮫川村に住んでいて感じることや好きなところは？

静かなところが良いです。他には、さまざまな世代の人と何かしらのつながりがあるところです。

★鮫川村に要望などはありますか？

同世代で村に戻ってくる人が少ないので、村が活性化し、住民が満足できる環境を整えてほしいです。

■

１月は、鈴木裕太さん（赤坂西野字本坂在住）の予定です。

今月の逸品

Cooking



ゆばロール

18年度県南農林事務所長賞作品（豆料理部門）

■材料（４人分）

乾燥湯葉…３枚　とろけるチーズ…４枚　おから…10ｇ
白玉粉…100ｇ　水…100cc　味付け海苔…４枚
かぼちゃ…1/10個　片栗粉…小さじ２　砂糖…小さじ２
牛乳…小さじ２　油…少々　きな粉…適宜

■作り方

❶乾燥湯葉は熱湯をかけて戻し、餃子の皮くらいの大きさに切る。とろけるチーズを１㎝角くらいに切る。
❷ボウルにおから、白玉粉と水を少しずつ入れ、耳たぶくらいの固さにする。チーズを生地でくるみ、味付け海苔で巻き、さらに湯葉で巻く。
❸かぼちゃは蒸して、片栗粉、砂糖、牛乳、チーズを入れ、混ぜる。だんご状に丸めて湯葉で包む。
❹フライパンに油を熱し、巻き終わりを下にして弱火で焼く。少し膨らんできたら焼き上がり、きな粉をまぶす。



岡部徳子さん（39）古殿町

紹介者から一言

焼くと白玉が膨らむので、ゆったりめの湯葉で包むと良いです。

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ相談

労使困りごと相談会

職場の中で起きている賃金、退職や人間関係などに関する困りごとや疑問についての相談を受け付けます。相談は無料で秘密は厳守します。

現地相談会では、労働問題に精通している労働委員会委員が対応します。予約は不要です。気軽に相談してください。

日時 12月4日㊐10時～16時

場所 須賀川市産業会館1階「会議室」および「研修室」

電話相談 県労働委員会事務局☎024-521-7594（10時～17時）

その他 労使困りごと相談は、来所、電話、電子メール（roudousoudan@pref.fukushima.lg.jp）などで随時受け付けています。

問県労働委員会事務局☎024-521-7594

ひきこもり家族教室

県南保健福祉事務所は、ひきこもりに関する悩みを持つ人やその家族を対象に「ひきこもり家族教室」を開きます。内容は講話「ポジティブなコミュニケーションスキルの獲得～実践をとおして～」や家族交流会があります。

日時 12月13日㊋13時30分～15時45分

場所 県南保健福祉事務所「大会議室」（白河市郭内127番地）

申し込み 県南保健福祉事務所障がい者支援チームまで電話で申し込んでください。

問県南保健福祉事務所障がい者支援チーム☎0248㉒5649

法律相談

白河司法書士総合相談センターは、不動産登記や会社登記、相続・遺言、多重債務、少額の裁判や成年後見などに関する法律相談を行います。相談は無料で、秘密は厳守します。

日時 1月19日㊍13時～16時

場所 須賀川市中央公民館2階「OA研修室」（須賀川市八幡町134番地）

その他 事前に予約をしてください。緊急を要するものについては、最寄りの相談員を紹介します。

問福島司法書士総合相談センター☎0120-81-5539（平日10時～12時30分、13時30分～16時）

毎月8日は「歯の日」です

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。
12月の担当は――

鮫川中学校
保健給食委員会（1年生）

蛭田桜也君
藤元優雅君
舟木崇太君



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247−49−3111
FAX 0247−49−2651

災害時対応電話（停電・災害時）
49-3302・49-3303

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848
ゆうきの郷土	49-3474

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
村県民税（第4期）
国民健康保険税（第7期）
介護保険料（第7期）
後期高齢者医療保険料（第5期）
※納期限：12月26日（月）

information

案内

国民年金保険料は納付全額が社会保険料控除の対象です

国民年金保険料は社会保険料を納めた場合と同様に、その年の課税所得から控除され、税額が軽減されます。

控除の対象となるのは、平成28年1月から12月までに納めた保険料で、過去の年度分や追納された保険料も含まれます。

また、自身の保険料だけではなく、配偶者や家族の国民年金保険料を納付している場合、その保険料も合わせて控除を受けることができます。

平成28年中に納付した国民年金保険料の社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告を行うときに、領収証書など保険料を納付したことを証明する書類の添付が必要です。平成28年1月1日から9月30日までの間に納付された人には、日本年金機構より11月上旬に「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されます。申告書提出の際は忘れずこの証明書、または領収証書を添付してください。

なお、平成28年10月1日から12月31日までの間に、今年はじめて国民年金保険料を納めた人は、翌年2月上旬に送付されますので確認してください。

問 日本年金機構白河年金事務所☎0248㉗4165／村住民福祉課住民係☎㊾3113

平成29年1月から65歳以上の人も雇用保険の適用対象になります

これまで65歳に達した日以降に雇用された人は、雇用保険の適用外でした。来年1月以降は、1週間の所定労働時間が20時間以上で、31日以上の雇用見込みがあれば、原則、雇用保険の対象となります。対象となる労働者を雇用する事業主の人は、加入手続きが必要です。詳しくは最寄のハローワーク（公共職業安定所）に問い合わせてください。

問 白河公共職業安定所☎0248㉔1256

介護セミナー2016

社会福祉法人福島県社会福祉協議会は介護セミナー2016を開きます。入場料は無料で、どなたでも参加できます。事前の申し込みが必要となりますので、注意してください。

日時 12月10日㈯10時～15時

場所 福島県男女共生センター（二本松市郭内1丁目196-1）

内容 ▼午前…講演「元気なからだいつまでも～介護予防体操～」 ※簡単な体操をしますので、動きやすい服装で参加してください。タオルを持参してください。▼午後…各会場に分かれ、介護に関する相談や介護支援ロボットの体験、認知症介護ワンポイント講座などがあります。

申し込み 参加を希望する人は、社会福祉法人福島県社会福祉協議会のホームページから申込書をダウンロードの上、ファクスなどで申し込んでください。

問 社会福祉法人福島県社会福祉協議会介護実習・普及センター☎0243㉓8306／FAX0243㉓8314（日・月・祝祭日は休み）

「手・まめ・館」に買い物カートが導入

村農産物加工・直売所「手・まめ・館」に買い物カート3台が導入されました。買い物をする際は、ぜひ利用してください。

問 村農産物加工・直売所「手・まめ・館」☎㊾2556

さぎり荘の年末年始の営業日

村民保養施設「さぎり荘」の年末年始の休業日は、12月31日から翌年1月4日までとしていましたが、下表のとおり臨時営業しますので、利用してください。

臨時営業日の利用時間は、14時から19時（18時30分までに入館してください）までです。

（毎週水曜日は定休日）

月　日	12/31㈯	1/1㊡	1/2㈪	1/3㈫	1/4㈬
営　業	休	休	○	○	休

【お願い】飲酒や体調不良時の入浴は、健康のためにご遠慮ください。

問 村民保養施設「さぎり荘」☎㊾2205

●この風景はどこ？

答え 遠ヶ竜ふれあいの里



December
12

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
		12/1 ◆送迎車運行日 （青生野地区）	2 ◆送迎車運行日 （富田・渡瀬地区）	3 ●お遊戯会［こ］
6 ◆送迎車運行日 （西野・西山地区） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	7 ◆送迎車運行日 （中野・東石地区） ●「さぎり荘」定休日 ●「手まめ館」定休日 ●３歳児健診… 13:00～[保]	8 ◆送迎車運行日 （青生野地区） ●やまゆり乳児室［こ］ ●やまゆり保育室［こ］	9 ◆送迎車運行日 （富田・渡瀬地区） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	10
13 ◆送迎車運行日 （西野・西山地区） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	14 ◆送迎車運行日 （中野・東石地区） ●「さぎり荘」定休日	15 ◆送迎車運行日 （青生野地区） ●やまぶきの会… 10:00 ～ 15:00[保] ●わくわく図書館ひろば …16:00 ～ [図]	16 ◆送迎車運行日 （富田・渡瀬地区） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	17
20 ◆送迎車運行日 （西野・西山方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●心配ごと相談… 13:00 ～ 15:00[公]	21 ◆送迎車運行日 （中野・東石地区） ●「さぎり荘」定休日 ●おはなしの森… 16:00 ～ [図]	22 ◆送迎車運行日 （青生野地区） ●幼稚園・小・中学校 第２学期終業式	23 天皇誕生日 ㊡金澤医院（矢祭町） ☎46-2312 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	24
27 ◆送迎車運行日 （西野・西山方面）	28 ◆送迎車運行日 （中野・東石地区） ●「さぎり荘」定休日 ●役場仕事納め	29 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	30 ㊡大木医院（棚倉町） ☎33-2424 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	31 ㊡深谷クリニック （棚倉町）☎33-3223 ●「さぎり荘」定休日 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
3 ㊡塙厚生病院（塙町） ☎43-1145 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「さぎり荘」臨時営業	4 ◆送迎車運行日 （中野・東石地区） ●「さぎり荘」定休日 ●「手まめ館」定休日 ●役場仕事始め ●消防団出初式	5 ◆送迎車運行日 （青生野地区）	6 ◆送迎車運行日 （富田・渡瀬地区）	7

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

10月届け出分・敬称略



藤沢　明希（あき）・女
平28.9.23生
住所…田尻
保護者…久義・恵美

おくやみ

10月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
岩野草	松崎健一	10. 2	72歳
唐露	有賀ミツ子	10. 8	78歳
大塩	岡部タカ	10. 8	94歳
滝平	圓井喜一	10.27	91歳

人の動き

11/1現在・（　）は前月比

人口	3,663人	（± 0）
男	1,849人	（－1）
女	1,814人	（＋1）
世帯	1,148戸	（＋2）

寄付寄贈

10月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…松崎勝雄（岩野草）　有賀浩一（唐露）　岡部啓一（大塩）　目黒区商工まつり運営委員会

■**村長が必要と認める事業のために[金員]**…大樂憲子（大塩）　大樂尚弘（宮城県）　大樂敦子（東京都）　大樂勝之（山形県）

※お誕生、おくやみ、寄付・寄贈欄への掲載を希望しない人は、届け出の際に申し出てください。

編/集/後/記

■今年も残すところ1カ月となりました。4月から広報担当になり、皆さんのご協力のもと、毎月広報を発行することができました。ありがとうございました。■鮫川の冬も本格的になりつつあります。体調管理に気をつけ、よい年をお迎えください。（西野）

暮らしのカレンダー

日	月
4 ㊡あらまちクリニック（棚倉町） ☎33-8018 第1日曜日は環境美化の日	**5** ◆送迎車運行日（村内全域） ●図書館休館日 ●トレセン休館日
11 ㊡つちやクリニック（塙町）☎43-2250 ●親子読書教室…10:00～［図］	**12** ◆送迎車運行日（村内全域） ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健康診査・お母さんの口腔健康相談
18 ㊡ふじた循環器科内科クリニック（棚倉町）☎33-2013 ●第2回舘山周回駅伝競走大会	**19** ◆送迎車運行日（村内全域） ●図書館休館日 ●トレセン休館日
25 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012	**26** ◆送迎車運行日（村内全域） ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●村県民税などの納期限
1/1 元旦 ㊡車田病院（塙町） ☎43-1019 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「手まめ館」・「すまいる」・「さぎり荘」定休日 第1日曜日は環境美化の日	**2** 振替休日 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町） ☎33-9468 ●図書館・トレセン休館日、「手まめ館」・「すまいる」定休日 ●「さぎり荘」臨時営業

広報 さめがわ Public Relations SAMEGAWA
12 December 2016
平成28年12月1日発行（毎月1日発行）
第752号（昭和27年9月創刊）

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み
Episode_23

舟木壽郎さん ミツヨさん
赤坂西野字寅卯平／1965(昭和40)年３月結婚

「結婚していつの間にか50年。忙しい日々だった」と振り返る舟木さん夫妻。お見合いがきっかけで知り合ったそうで、当時の印象を聞くと、「かっこよかった」とミツヨさん。当時、ミツヨさんが乳牛の世話や日に３回の搾乳を行い、壽郎さんも仕事の合間に手伝いをする日々。思い出は、子どもたちから還暦や古希のお祝いをしてもらったことで「孫たちも一緒に祝ってくれた」とにっこり。

今の楽しみは、友人や子どもたちとの旅行。「旅先で飲む一杯が楽しみの一つ」と壽郎さん。「これからも、２人健康でいられるように気をつけたい」と仲むつまじい夫妻です。

こちら 村長室

▼山本良一東京大学教授の講演会での話です。「エシカル消費」という言葉が注目されています。人や社会・環境に配慮した消費行動のことです。４年前のロンドン五輪、今年のリオデジャネイロ五輪の開催国では、エシカル消費に配慮された運営が行われ、４年後の東京五輪にも注目が集まっています。私たちは現在、豊かな消費生活を享受し、世界中の商品を入手できます。一方、深刻な環境問題や社会問題に直面しています。自分の利益だけでなく、国内外の人々や子孫にも配慮した商品選択が求められているとの話でした。▼私たちも、フードマイレージにこだわり、地産地消、医食同源を呼びかけています。安心安全の農業、食品の生産に努力しています。枯渇していく資源を流通業者も消費者も共に考えなくてはいけないと思います。４年後の東京五輪開催にはユネスコ無形遺産に登録された「和食」で、日本ならではの食材、食文化で各国選手の食欲を満たすことができるように準備をしていければ素晴らしいことだと考えます。

大樂勝弘

発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5